

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 東邦亜鉛株式会社
 コード番号 5707 URL <http://www.toho-zinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手島 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 今井 通弘
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東大

TEL 03-3272-5614

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 29,474 | — | 2,789 | — | 2,675 | — | 1,420 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 38,257 | 38.4 | 6,025 | 24.2 | 5,834 | 26.1 | 3,447 | 32.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 10.46 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 25.38 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 124,312 | 58,472 | 58,472 | 47.0 | 430.57 | |
| 20年3月期 | 124,650 | 57,257 | 57,257 | 45.9 | 421.61 | |

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 58,472百万円 20年3月期 57,257百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | — | — | 10.00 | 10.00 |
| 21年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-------------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 57,000 | — | 6,700 | — | 6,500 | — | 3,850 | — | 28.35 |
| 通期 | 116,000 | △21.3 | 13,000 | △24.8 | 12,500 | △27.5 | 7,100 | △28.6 | 52.28 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

〔(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 135,855,217株 20年3月期 135,855,217株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 51,737株 20年3月期 50,794株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 135,804,033株 20年3月期第1四半期 135,807,696株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題を背景とした米国の景気後退懸念や株式・為替相場の変動と原油価格の高騰、諸資材価格の上昇等により、景気の先行きに対する不安感から消費者マインドが悪化し、企業業績も下振れが懸念されるなどの景気の減速感が強まる状況で推移しました。

このような情勢のなか、当社の主力製品である亜鉛・鉛の需給にやや余剰感が出たことから、価格が大幅な下落に見舞われたうえ、円高ならびにエネルギー価格の上昇の影響もあるなどの逆風下にありました。

以上の結果、当第1四半期の連結売上高は、294億74百万円（前年同期比23%減）となり、営業利益は27億89百万円（同54%減）、経常利益は26億75百万円（同54%減）、四半期純利益は14億20百万円（同59%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 製錬事業部門

副産品である銀、硫酸は増収となりましたが、主力の亜鉛価格の大幅な下落などにより売上高は221億89百万円（前年同期比26%減）、営業利益は17億71百万円（同63%減）となりました。

② 電子部材事業部門

電解鉄は特殊鋼向けに引き続き好調でしたが、電子部品は価格競争と原材料価格の高騰が響き売上高は25億37百万円（同9%減）、営業利益は2億32百万円（同2%増）となりました。

③ 環境・リサイクル事業部門

電炉ダストを原料とする酸化亜鉛の価格下落により売上高は25億7百万円（同28%減）、営業利益は4億29百万円（同40%減）となりました。

④ その他事業部門

防音建材部門は微減となりましたが、運輸部門の産業廃棄物の回収拡大により売上高は22億39百万円（同3%増）、営業利益は4億29百万円（同2%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、1,243億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億38百万円の減少となりました。これは、四半期純利益14億20百万円により利益剰余金が増加したものの、配当金の支払い及び長期借入金の返済を実施したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末は142億53百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は34億18百万円となりました。その主なものは、税金等調整前四半期純利益25億74百万円及び仕入債務の増加による21億7百万円の資金の増加と、たな卸資産の増加による25億60百万円及び法人税等の支払いによる10億97百万円の資金の減少によるものであります。

投資活動による資金の支出は13億13百万円となりました。その主なものは、有形固定資産の取得による12億32百万円の支出によるものであります。

財務活動による資金の支出は、21億86百万円となりました。その主なものは、長期借入金の返済による8億28百万円及び配当金の支払いによる13億58百万円の支出によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取巻く情勢は、金属価格の下落、燃料価格等の諸資材の高騰及び景気の後退も予想され、予断を許さない厳しい経営環境が続くものと思われまます。このため、当初の収益計画を達成すべく、生産性・効率性のさらなる向上を図るなど諸施策を強化展開しております。

なお、平成21年3月期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間及び通期ともに前回決算発表（平成20年5月14日）の見直しは行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産の評価基準

通常の販売目的で保有するたな卸資産の評価基準については、従来、原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ664百万円減少しております。

② ①以外の変更

重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産の評価方法

当社は電子部材系たな卸資産以外のたな卸資産（貯蔵品を除く。）の評価方法については、従来後入先出法による原価法を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より先入先出法による原価法に変更しております。

変更理由は以下のとおりであります。

- 1) 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたこと、及び近年の原材料等の価格の大幅な変動を受け、たな卸資産の貸借対照表価額と時価の乖離が顕著になったことから、乖離を減らし財政状態をより適正に表示するため。
- 2) 会計基準の国際的なコンバージェンスの取組みが加速している中で、平成20年3月31日に企業会計基準委員会より「棚卸資産の評価に関する会計基準（案）」（企業会計基準第25号）が公表され、後入先出法が廃止される見込となったため。

この結果、従来の方法によった場合と比較して、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ156百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 14,278 | 14,357 |
| 受取手形及び売掛金 | 19,726 | 20,120 |
| 商品及び製品 | 6,948 | 6,911 |
| 仕掛品 | 8,222 | 6,028 |
| 原材料及び貯蔵品 | 13,906 | 13,576 |
| 繰延税金資産 | 437 | 539 |
| その他 | 5,381 | 8,254 |
| 貸倒引当金 | △37 | △52 |
| 流動資産合計 | 68,863 | 69,736 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,926 | 5,767 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 10,476 | 10,573 |
| 土地 | 16,947 | 16,947 |
| 建設仮勘定 | 1,016 | 763 |
| その他(純額) | 315 | 324 |
| 有形固定資産合計 | 34,683 | 34,375 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 89 | 92 |
| 無形固定資産合計 | 89 | 92 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 11,588 | 11,620 |
| 関係会社株式 | 6,117 | 5,279 |
| 長期貸付金 | 1,378 | 1,379 |
| 繰延税金資産 | 345 | 887 |
| その他 | 2,108 | 2,140 |
| 貸倒引当金 | △862 | △862 |
| 投資その他の資産合計 | 20,676 | 20,445 |
| 固定資産合計 | 55,449 | 54,914 |
| 資産合計 | 124,312 | 124,650 |

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,222 | 8,132 |
| 短期借入金 | 21,601 | 21,601 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 4,896 | 4,896 |
| コマーシャル・ペーパー | 3,000 | 3,000 |
| 未払法人税等 | 1,437 | 1,130 |
| 引当金 | 116 | 107 |
| その他 | 7,244 | 7,327 |
| 流動負債合計 | 45,518 | 46,193 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,790 | 11,618 |
| 退職給付引当金 | 3,332 | 3,393 |
| その他の引当金 | 391 | 390 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 5,785 | 5,785 |
| その他 | 21 | 11 |
| 固定負債合計 | 20,321 | 21,200 |
| 負債合計 | 65,840 | 67,393 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 14,630 | 14,630 |
| 資本剰余金 | 9,877 | 9,877 |
| 利益剰余金 | 23,824 | 23,839 |
| 自己株式 | △22 | △21 |
| 株主資本合計 | 48,309 | 48,325 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,851 | 1,039 |
| 繰延ヘッジ損益 | 503 | △69 |
| 土地再評価差額金 | 7,579 | 7,579 |
| 為替換算調整勘定 | 228 | 381 |
| 評価・換算差額等合計 | 10,162 | 8,931 |
| 純資産合計 | 58,472 | 57,257 |
| 負債純資産合計 | 124,312 | 124,650 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) |
|--------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 29,474 |
| 売上原価 | 25,133 |
| 売上総利益 | 4,340 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,551 |
| 営業利益 | 2,789 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 120 |
| 受取配当金 | 68 |
| 為替差益 | 153 |
| その他 | 47 |
| 営業外収益合計 | 391 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 144 |
| 持分法による投資損失 | 286 |
| その他 | 73 |
| 営業外費用合計 | 504 |
| 経常利益 | 2,675 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 1 |
| 貸倒引当金戻入額 | 19 |
| その他 | 0 |
| 特別利益合計 | 20 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 122 |
| 特別損失合計 | 122 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,574 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,412 |
| 法人税等調整額 | 258 |
| 法人税等合計 | 1,154 |
| 四半期純利益 | 1,420 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) |
|----------------------|-----------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,574 |
| 減価償却費 | 754 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △15 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 9 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △61 |
| 受取利息及び受取配当金 | △89 |
| 支払利息 | 144 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | 286 |
| 有形固定資産売却損益 (△は益) | △1 |
| 有形固定資産除却損 | 122 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 469 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △2,560 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 2,107 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 30 |
| その他 | 789 |
| 小計 | 4,560 |
| 利息及び配当金の受取額 | 96 |
| 利息の支払額 | △141 |
| 法人税等の支払額 | △1,097 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,418 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,232 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1 |
| 貸付金の回収による収入 | 8 |
| その他 | △92 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,313 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入金の返済による支出 | △828 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 |
| 配当金の支払額 | △1,358 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,186 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △79 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 14,332 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 14,253 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

| | 製錬事業 (百万円) | 電子部材事業 (百万円) | 環境・リサイクル 事業 (百万円) | その他事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は全 社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|---------------|-----------------|-------------------------|----------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 22,189 | 2,537 | 2,507 | 2,239 | 29,474 | — | 29,474 |
| (2) セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 151 | 3 | 41 | 1,582 | 1,778 | (1,778) | — |
| 計 | 22,341 | 2,540 | 2,549 | 3,821 | 31,252 | (1,778) | 29,474 |
| 営業利益 | 1,771 | 232 | 429 | 429 | 2,863 | (73) | 2,789 |

(注) 1. 事業区分の方法

製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産に照らし区分しております。

2. 各事業の主要な製品

| 事業区分 | 主要製品等 |
|------------|----------------------------------|
| 製錬事業 | 亜鉛製品、鉛製品、電気銀、硫酸等 |
| 電子部材事業 | 電子部品、電解鉄、プレーティング、機器部品等 |
| 環境・リサイクル事業 | 酸化亜鉛、廃棄物処理再生等 |
| その他事業 | 防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等 |

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期連結損益計算書

| 科 目 | 期 別 | 前年同四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期 |
|----------------|-----|-------------------------------|
| | | 金額(百万円) |
| I 売上高 | | 38,257 |
| II 売上原価 | | 30,690 |
| 売上総利益 | | 7,567 |
| III 販売費及び一般管理費 | | 1,541 |
| 営業利益 | | 6,025 |
| IV 営業外収益 | | 426 |
| 1. 受取利息及び受取配当金 | | 252 |
| 2. 持分法による投資利益 | | 77 |
| 3. その他 | | 96 |
| V 営業外費用 | | 618 |
| 1. 支払利息 | | 152 |
| 2. その他 | | 466 |
| 経常利益 | | 5,834 |
| VI 特別利益 | | 3 |
| 1. 固定資産売却益 | | 2 |
| 2. その他 | | 0 |
| VII 特別損失 | | 98 |
| 1. 固定資産除却損 | | 98 |
| 税金等調整前四半期純利益 | | 5,739 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 1,738 |
| 法人税等調整額 | | 552 |
| 四半期純利益 | | 3,447 |